徳地町報

昭和46年1月5日発行
第184号

発行者　徳地町
発行所　徳地町役場
編集者　河村　稔
印刷所　今澄印刷所

謹賀新年

昭和46年元旦

徳地町役場一同
徳地町議会一同
徳地町教育委員会一同
徳地町農業委員会一同

1月の税金

第4期　町県民税
第4期　固定資産税
納期限　1月31日まで

早めにお納めください。

議会便り

決算の認定

職員給与の改定などきまる

昭和四十五年々末納め町議会は十二月十四日招集され会期十日間で、十二月二十三日町長提出の次の諸案を可決確定して閉会しました。

認定第一号
昭和四十四年度徳地町各会計歳入歳出決算認定について

一般会計
歳入決算額、五億九百九十一万五百五十五円
歳出決算額、四億八千九百三十五万七千四百八十二円
差引、一千八百六十四万二千五百十八円の黒字となり四十五年度へくり越されています。

特別会計
▽国民健康保険事業勘定
歳入決算額、九千三百五十二万三千十九円
歳出決算額、八千八百五十四万五千四百九十八円
差引、八十五万六千五百二円が四十五年度へくり越されています。
▽国民健康保険直診勘定
歳入決算額、二千百七十五万八百二十二円
歳出決算額、一千百十九万六千九百六十六円
差引、十七万三千三十四円が四十五年度へくり越されました。
▽住宅改修資金貸付事業
歳入決算額、百二十七万七千九百五十九円
歳出決算額、百二十七万一千六百五十八円
差引、十万三百四十二円を四十五年度へくり越しました
▽交通災害共済事業
歳入決算額、六百二十九万三千八百四十六円
歳出決算額、四百四十九万二千百七十一円
差引、二十四万九千八百二十九円が四十五年度へくり越されました。

なお、この決算状況については十二月号町報で、財政状況の公表の際、報告しましたので、今回はくわしい報告はしませんので、ご了承ください。

議案第一号より第五号までは十一月一日、新南陽市が誕生したので、関係組合等の規約を改正したものです。

議案第六号
徳地町交通災害共済条例の一部を改正する条例について
この条例改正の主な点は、①従来は町村会の関係のみでありましたが、今回新南陽市ができたことにより、新しく「市」を加えることになったこと。
③四十六年度から共済掛金を従来の三百六十円から、五百円に引き上げること。
③従来は共済金の支給根拠を月をもって計算していましたが、今後は、「日」を計算単位とするよう改正しようというものです。

議案第七号
土地改良事業の施行について
県の補助を得て、里県土地改良事業として、大字引谷の白石地区に百二十メートルの農道工事を施行しようというものです。

議案第八号
徳地町小作料協議会条例の制定について
これは、先般の農地法の改正により、小作料の設定に関して、農業委員会の諮問機関として、農地の貸手、借手双方の意見により調整することになり、協議会を設置することになったものです。
この協議会の構成は、地主の代表者五名、小作の代表者五名、それに学識経験者五人程度を加えた人員で構成することになっております。

議案第九号
徳地町報酬および費用弁償条例の一部を改正する条例について
これは、七号議案の小作料協議会委員に対する報酬および費用弁償をきめたものです。

議案第十号
徳地町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
この条例改正は、昨年八月十四日に行なわれた「人事院の勧告」を実施するためのやむを得ない改正です。
主な改正内容は
▽官公庁の給与が民間給与との間に一二、六七%の格差があるので、これをちぢめようというわけです。
▽今回の改正で、借家に対して住居手当が三千円を限度として支給されるように改められたことなどが主な改正点です。

議案第十一号
町有林（部分林）立木売却について
これは、大字堀字西山一三四四の三二、九四ヘクタールにある山林立木の売却について議決を求めたものです。
まつつ、ざつ三、〇六〇㎥、売払価格一、四〇一万八千円ですので七〇〇万円以上の金額ですから議会の議決がいるので、提案されたものです。

議案第十二号
徳地町一般会計補正予算は、補正額が歳入、歳出とも、一、九二〇万円で、予算総額五億六、九七〇万円となりました。
今回の補正は主に人事院勧告による人件費の補正と、道路新設改良費九〇二万円で、町道の舗装および改良費などの増加補正が主な内容となっています。

議案第十三号
国民健康保険特別会計
直診勘定のみ、歳入歳出とも補正額が五九万円とし、予算総額は一、二八五万八千円となりましたが、主に人件費の補正でありますもに、これに対処する受入体制を待と考えていかねばなりません。
今後、産業または教育の振興はもとより、企業誘致、観光開発等大きく取りあげる事象が山積しております。
このように本町としては、従来に増してもっとも重大な時期に到来しております
反面、町財政は、決して容易なものではありませんが、これらを乗り切るには、町民打って一丸となり、総力を結集して前進すること、他方では、国県の指導と援助に待つほかありません。
このような次第で、この上とも一層のご協力をいただきますようまた私も、郷身の努力をもって諸案件を処理し、町民福祉の向上に一路邁進する決意であります。
ここに年頭に当り、所懐の一端を申しあげ、向後一年間、皆さま方のご健康、ご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ

徳地町長　長嶺政男

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。
平和で豊かな一九七一年の輝かしい新年を、皆さんとともに迎えることのできましたことをたいへん喜びにぞんじます。
頃りみますと、昨年はかつてない米の生産調整に加えて、台風による被害を受け、意外な減収でありましたが、農家各位の他方面での活躍により、悪条件を克服、前進されましたその姿、また町計画の事業も大半が成果を収めて参りました。
これは、町民皆さんや関係諸機関のご配慮、ご支援の賜でありまして、深く感謝する次第でございます。
さて、本年は、昨年よりさらに一段と厳しさが増すように感ぜられますので、これに対処すべく諸計画をたて、万全を期して力強く前進したいとぞんじます。
あたかも昨年、政府では、過疎地域の振興対策を自治に法の制定をしましたが、本町は、その該当町であり、また、広域市町村圏の指定町でもあります。
そこで、昨年後半期より、これが基本計画をたて、旧年の町議会において、ご検討いただき、それぞれ了承を得て、本年度より実施の段取りにいたしております。
基本的には、交通々信の整備や教育ならびに産業の振興、社会福祉向上、衛生環境の整備の充実、また、防災対策、企業誘致等相当幅広い事業量を予定しております。
特に町民皆さんが、日常生活の中で健康ほど幸福なことはありませんので、この点に格段の留意をいたし、昨年よりさらに予防ならびに検診対策に努力して、その実をあげる所存であります。
また、教育面でも設備内容の充実はもちろんでありますが、従来からの懸案を解消し、校舎建築も実現する考えであります。
次に農林業については、農業振興指定町としての面目にかけ、農協指導部と力をあわせ、優良米に品種統一し、また特産物についても熱心なグループを動員し、二～三の作目を選定し、主産地作りの指導に力を注ぐほか、今後、市場開拓、販路対策に一段と検討努力して、成果をあげるよう意気込んでおります。
防災治案の面では、消防ポンプおよびこれが積載車の購入計画を進めて、万全を期したいと考えております。
次に交通対策では、目下、県当局において防府―阿東線は、一挙に柚野の出合口まで工事実施の予定、また堀―南陽線も大幅改修が見込まれ、舗装も大半実施の計画が進められております。
この上とも、対県折衝を重ね実現方を強くお願いすることにしておりますので、地元用地関係者の方々に特別のご協力をお願い申しあげたいと存じます。
また、町自体としても必要路線の改修舗装については特に最大限に施工するよう計画中であります。
中国縦貫自動車道も新春早々から、いよいよ中心杭打作業が始まり、順次行程が進められます。
こうした交通関係の変ぼうによって、本町の立地条件も大きく変革していくことが予想されるとともに、これに対処する受入体制を整備することが、当面の重要課題として取り扱かいました。
なお、昭和製鉄は実質は三着で、準優勝、品地青年団
なお、昭和製鉄は実質は三着で、準優勝、品地青年団
優勝、八坂青年団
準優勝、八坂中B組
◎　高等学校の部
優勝、多々良高校A組
準優勝、多々良高校B組
◎　青年団の部
優勝、八坂青年団
準優勝、品地青年団
なお、昭和製鉄は実質は三着で、準優勝、品地青年団
したが、大会規約の上から、番外として取り扱かいました。

徳地町駅伝競走

本町恒例の駅伝競走が、十二月五日、七区間二十六キロ六百メートルのコースで、合計十六チームの参加をえて、盛大に挙行されました。
当日の主な成績は次のとおりです。
◎　中学校の部
優勝、八坂中A組
準優勝、八坂中B組
◎　高等学校の部
優勝、多々良高校A組
準優勝、多々良高校B組
◎　青年団の部
優勝、八坂青年団
準優勝、品地青年団
なお、昭和製鉄は実質は三着で、準優勝、品地青年団
したが、大会規約の上から、番外として取り扱かいました。

買物メモ

アルマイト鍋をえらぶには

アルマイト鍋は、メッキと違ってアルミニウムの表面を電気的に酸化させ、硬い性質をもったアルマイトに変化させたものです。
アルマイトには、硫酸アルマイトといって黄色がかったものと硫酸アルマイトといって、白色のものとがあります。
JISでは、このアルマイトの厚さを六ミクロン以上と規定していますが、厚さは同じでも黄色の硫酸アルマイトの方が、磨耗や酸などにも強い性質をもっています
よく、アルマイトの鍋を磨いたら、黒い汁が出るが害はないだろうかという質問に出あいます。
長年使っているうちに、アルマイト加工した表面の層がちびて下のアルミニウム層が、出てしまったような鍋では、機械的にこすったりすると、アルミニウムが溶け出てくる可能性があります。
原料のアルミニウムに不純物が入っていなければ、料理に溶け出るぐらいの量では、心配ないといわれています。しかし、原料の純度にも不安はありますし、アルマイトの層がちびたときには、思いきって新しいものに買いかえ、安心して使いたいものです。

森林火災をなくそう

森林は、あらゆる面で国民生活と強く結びつき、いろいろな役割を果しております。
しかし森林は、いったん火災が発生しますと、たいせつな資源や森林のもついろいろの役割はいっしゅんのうちに灰となってしまい、社会的、経済的に大きな損失をもたらします。
昭和四十年以降、山口県下でおきた森林火災は、約千三百件、三千ヘクタール、五億六千万円余の損害を出しております。
徳地町でも三十五件八百六十五万円ぐらいの被害が出ています。
これらの森林火災の発生原因はたき火四三%、たばこ二九%、火入れ九%、その他一九%などとなっており、道路がよくなり、レジャー人口が急増し、山火事の機会は、ますます増大しています。
このため、県や町では、いろいろ森林火災防止対策を進めていますが、なんといっても、住民の皆さんのご協力なしには、森林火災を無くすることは困難です。
緑り濃い郷土の山々を守るため格段のご協力をお願いします。

知能を高める

ための訓練

かたことがしゃべれるようになると、やたらにものを覚えるお母さんを見受けますが、たしかにこの時期にはよく覚えます。

覚えるということも知能の一つですから、覚えることも結構です

しかし、あまり覚えさせることにとらわれると、頭を判断や推理創造の方にまわす意欲をうしない未知のことがらに取り組もうとする意欲をなくつてしまうことがあります。

だから知能の訓練という面からいいますと、むしろ覚える訓練よりも考える訓練をつけさせることがたいせつだといえます。

未知の問題でもどこかに突破口を見いだし、自分で考えてみるという態度の養成こそ、近代人に欠かせないことだと思います。

小学校でも

覚えさせる
考えさせる
態度を養なう

ことを訓練しています。

ですが考えさせるという面では学校のように集団の中では、なかなか訓練が困難です。

それに比べると家庭は、考えさせる場として、まさにかっこうな場といえましょう。

ささいなことでもおとなの判断ですぐ結論を出すことを控え、こどもとともに考えてみることこそ知能を高める訓練になります。

家庭の日をたいせつに

徳地町連合婦人会では、昨年11月30日、徳山市にある精神薄弱児施設白鳩学園などを慰問しました。写真はその一コマです。

写真上は、畜産共進会
下は、農林産物共進会　の一コマです

社会教育だより

成人式

一月十五日八時三十分受付
九時開式の予定

ところ

中央公民館大会場

昭和四十六年（一九七一年）の徳地町成人式は、一月十五日午前八時三十分より受付、午前九時開式の予定で、中央公民館で挙行されます。

ことしの成人者数は（単位、人）

出雲	男、四〇	計七九	
	女、三九		
八坂	男、二六	計六五	
	女、三九		
島地	男、三二	計五四	
	女、二二		
柚野	男、一四	計二八	
	女、一四		
串	男、二〇	計三一	
	女、一一		
総計	男、一三二	合計二五七	
	女、一二五		

以上のとおりですが、成人者はもとより、広く一般の皆さんもこの華かしい「若人の門出」に当り多数ご参加ご激励くださるようお待ちしています。

ご成人おめでとう

徳地町長　長嶺政男

徳地町教育長　藤井邦義

華かしい一九七一年の新春とともに、今年成人を迎えられる皆さん方に、心からお祝いのことばをお贈りします。

皆さんは、今年中にりっぱに成人としての資格を得られます

しかし、その資格は、あなた方の自覚と責任においてのみ果し得るものであります。

この喜ばしい日に当り、いつ如何なるときでも、自分を失なわない心と、健康な身体を養って、正しく、明るい社会人としての人格を形成されんことを、切に希望いたします。

国旗を立てよう

国民の祝祭日には、国旗を立てて祝いの気持をあらわすのが世界の国々のならわしです。

国旗の正しい立て方

国旗の正しい立方は、旗竿の先に金色の玉をつけ、その下をあけずに旗を結びつけます

国旗は、一本立てるのが正しく門の内側からみて、門または出口の右側に立てます。

二本立てるときは、左、右に一本づつ立てます。

国民の祝祭日には、各戸毎に忘れずに国旗を立てましょう。

善意銀行

一金、五千円

これは、大字深谷、河野吉義さんより、尊父九衛さんご死去の際の香典返しの一部として寄贈されたものです。

一金、五千円

これは、大字上村、小野義生さんより、尊父亮吉さんご死去の際の香典返しの一部として寄贈されたものです。

一金、一千円

これは、大字船路、村田允さんが毎年一円貯金を寄贈される恒例のものです。

一金、五千円

これは、徳地ライオンズクラブ会長、下田正二さんより寄贈されたお金です。

一金、一千六百二十円

これは、徳地建製株式会社の橋本克治さんほか従業員の方々の団体貯金の集金手数料と歳末募金をあわせて、寄贈せられたものです。

一金、一千円

これは、大字引谷、岡崎亟輔さんより、老人ホーム秋楽園の見舞金として贈られました。

◎　有倫館学園よりの贈り物

大字野谷、有倫館学園では本年も昨年同様、園児六十名によって餅つきを行ない、老人ホーム秋楽園に入っておられる、孤独なおとしよりの方々に贈られました。

秋楽園のおとしよりは、可愛いいこどもさんの面影を相像しながら、涙を流して喜んでおられました。

一金、一千円

これは、大字三谷のある匿名のご婦人より、老人ホーム秋楽園に八坂地区より入園しておられる方々へ贈られたものです。

一金、八千五百円

これは、徳地町ボーリング会長、三家本力夫さんより善意銀行に寄贈されました。

一金、三千円

これは、愛知県豊川市豊川町日立とよかわ寮におられる、藤本たか子さん（深谷、藤本宗一さんのお嫁さん）より、はるばるご送金があったものです。

一金、三千円

これは、徳地警部派出所の職員ご一同より善意銀行に寄贈されました。

一金、五百三十五円

これは、大字堀字堀の常盤真理子さん、常藤由紀子さんより善意銀行へ寄贈されたものです

一金、四千円

これは、徳地町連合青年団より歳末助けあいの義援金として寄贈されました。

一金、一千五百円

これは、大字堀、山本武志さんより寄贈されました

一金、二千円

これは、佐波高校家庭クラブ員ご一同より、毎年恒例として善意銀行へ寄贈されました。

一金、一万円

これは、大字堀、小池昌造さんより、特別に善意銀行に寄贈されました。

歳末助けあいの結果報告

ありがとうございました

年末に行ないました「歳末助けあい運動」につきまして、皆さまの心からなる、あたたかいご協力をいただきまして、予期以上の成果をあげることができました。

皆さま方より寄せられた金品は年末にそれぞれの地区で民生委員、婦人会長さんなどにお集りいただき、配分委員会を開いて厳正公平に配分しました。

皆さまの善意に対し、深くお礼申しあげますとともに、結果のご報告を申しあげます。

◎　寄贈された金品

現金、十一万七千五百六十円
白米、五石七斗九升二合
玄米、五斗七升
もち米、一斗四升三合
豆類、一斗九升
その他日用品、数点

◎　配分した先

▽町内の恵まれない家庭、百二十八世帯

▽　自宅で長期療養しておられる気の毒な人、三十四人

▽　自宅でさみしく生活しておられる孤独の老人、十七人

▽　自宅で不自由をしておられる重い身体障害の人、四十八人

▽　町内出身の老人ホームで余生を送っておられる老人、十九人

▽　町内出身の児童で、各施設で育成されている児童、二十二人

▽　町内出身で各療養所で長期療養をしておられる人、五十四人

▽　その他の人、五十人

（徳地町社会福祉協議会長）

老齢年金の現況届は

一月十五日までに提出を

厚生年金、船員保険の老齢年金や通算老齢年金、特例老齢年金を受給している人は、現況届を一月十五日までに出しましょう。

厚生年金保険、船員保険の年金は、年四回の各支払期月ごとに自動的に支払われます。

しかし、引き続いて年金を受けるためには、年に一度だけ現況届を提出していただくことになっています。

この現況届は、年金を受けている人が引き続いて年金を受ける権利があるかどうかの確認を受けるためのたいせつな届出です。

現況届の用紙は、旧年末ごろまでに社会保険事務所から、老齢年金、通算老齢年金、特例老齢年金を受けている人に直接送られていると思います。

忘れないように一月十五日までに町長から戸籍または住民票に記載されていることの証明を受けて社会保険所年金保険部兼務課（東京都杉並区高井戸西三丁目五番二四号、郵便番号一六七）あて届出をしてください。

なお　現況届が期日を過ぎても提出されないと、年金の支払いができなくなることがありますのでご注意ください。

あとがき

ことしも一生懸命にがんばります。皆さまの貴重なご意見、お心づきを編集室までお寄せください

皆さまのお心を心として、町政発展のため微力ながら努力します

ご協力をお願いいたします。